

## 社会科（公民的分野）学習指導案

日 時 平成27年12月17日(木) 5校時

学 級

指導者

1 単元名 「労働者の権利と多様化する働き方」 東京書籍 （ p.118 ～ 121 ）

2 単元とその指導について

(1) 単元観

労働者の権利は憲法や法律などにより保護されているものの、仕事と生活のアンバランスや過労死などの労働災害が大きな社会問題になっている。また、長引く景気低迷の影響で、雇用形態別労働者に占める正社員の割合が徐々に減少している。このことは、企業が人件費を抑制するために非正規労働者を積極的に活用しようとしたことが要因であるが、労働者派遣事業の規制緩和が、こうした傾向を後押ししたと言われている。

本単元は、高校進学を目前にしている中学生にとって、将来のことを考え人生設計をする上できわめて重要な単元である。ワーキングプアの問題やよりよいセーフティネットの在り方を考えさせることを通じて、積極的に社会事象について考えるような公民的資質の向上を図りたい。

(2) 生徒観

(3) 指導観

労働者の権利や働き方の多様化について理解させた上で、労働災害、非正規労働者の増加などの問題に関心をもたせる。さらに、ワーキングプアとよばれる働く貧困層を増やさないための手立てについて多角的・多面的に考えさせることで、主体的に社会に参画しようという態度を育てたい。

3 単元の目標

(1) 仕事に対する考え方や雇用をめぐる環境の変化について、関心をもっている。

(関心・意欲・態度)

(2) 現代日本の労働や雇用の課題を、将来自らもかかわる課題としてとらえ、その解決策について考えることができる。

(思考・判断・表現)

(3) 多様化する労働の在り方や雇用をめぐる問題について、資料を収集・選択し、複数の資料を比較して読み取ることができる。

(資料活用)

(4) 労働者の権利や非正規労働者の増加に伴う問題について理解している。(知識・理解)

4 単元の指導計画 (全4時間)

	学 習 活 動	教師の指導・支援	時配
1	働くことの意義と労働者の権利  労働者の権利と労働条件の改善について考えよう。	ファストフードの店長が起こした残業代不払いの裁判を通して、労働者の権利について考えさせる。	1
2	多様化する労働の在り方  自分は成果主義と年功序列、どちら向きかな？	自分は成果主義と年功序列のどちらの働き方が向いているかを考えさせることを通じて、多様化する働き方に関心をもたせる。	0.5
3	増加する非正規労働者  派遣社員と正社員、あなたならどちらを選択しますか。	派遣労働者のメリットとデメリットを考えることで、非正規労働者が増加する背景に関心もたせる。	0.5
4	不安定な雇用情勢とセーフティネット  明日から仕事がない。あなたならどうする。 * 佐賀公共職業安定所とジョブカフェ saga の職員を招いて、セーフティネットに関する授業を実施。	失業したときに何をするかを考えさせることで、職業相談や職業訓練、生活保護、雇用保険などのセーフティネットの重要性について理解させる。	1
5	増加する非正規労働者と働く貧困層  ワーキングプアを増やさないための政策を考えよう。	他の人の意見や評価を参考にさせることで、よりよい政策を検討させる。	1 本時

## 5 本時案

(1) 題目 「増加する非正規労働者と働く貧困層」

(2) 目標 ワーキングプアを増やさないために有効だと思われる対策について、労働者と企業の立場から評価する活動を通して、他者の意見や資料を参考に自分なりに考えた政策を発表することができる。

(3) 展開

段階	学習活動	形態	教師の支援・留意点	◆資料 ◎評価
導入	1 仕事に係る双六をして、気づいたことを発表する。	G	・多様化する労働の在り方と非正規労働者がなかなか正社員になれない現状を確認する。	◆双六「お仕事クエスト」
	2 本時の学習課題を知る。	個	・世界金融危機以降、働く貧困層の存在が注目されるようになったことを押さえる。	◆リーマンショックの動画資料 ◎政策を考えようという意欲をもっている。
<b>めあて ワーキングプアを増やさないための政策を考えよう。</b>				
展開	3 有効だと思われる5つの法案について評価する。		1. 非正規労働者を正社員として雇うことの義務化 2. 最低賃金を大幅に引き上げる。 3. 派遣切りなど、突然解雇することを禁止。 4. 職業訓練のための制度を充実させる。 5. 労働組合の結成・加入を促進する。	◆学習プリント
	①法案を労働者と企業の立場から評価する。	個ペア	・立場により利害が異なり、調整が容易でないことに気づかせる。	
	②各班で法案の有効性に順位をつけ、全体に発表する。	G	・ワーキングプア対策として有効であっても、利害の対立のため必ずしも合意が可能ではないことに気づかせる。	◎積極的に意見を発表し、解決策を見い出そうとしている。
	4 政策を考える。			
	①キーワードを使って、自分なりの考えをまとめる。	個ペア	・ヒントカードを配付し、多角的・多面的に考える手掛かりとする。	◆ヒントカード①②
	②班の政策としてまとめる。	G	・長期的な視野をもち、複数の施策を組み合わせる必要があることを説明する。	◎思考をつなぐ言葉を使って、有効な政策を考えようとしている。
	③各班で話し合ったことを全体に発表する。	G	・疑問点や意見があれば積極的に発表させ、考えを共有させる。	
終末	5 授業を振り返って気づきや感想を書く。		・多様化する労働の在り方とワーキングプアの問題を関連付けてまとめるように指示する。	